

テーマ：北方領土（実践校）

石狩管内 江別市立文京台小学校

本実践のポイント（概要）

- ・北方領土に対する興味・関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、動画を視聴したり北方領土にかかわる活動をする人の話を聞いたりするなど、北方領土の特色や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

北方領土の学習を通して、正しい知識を身に付け、北方領土に対する理解を深めるとともに、自分たちの生活との関わりについて考え、ふるさとに対する愛着をもつことができるようにする。

取組の様子

(1) 課題の設定

アニメ動画「ジョバンニの島」を視聴し、北方領土の元島民の生活の様子や、ロシア連邦に占拠されたときの様子を知ることにより、北方領土に対する興味・関心をもつことができました。

また、「北方領土に関する体験型ワークショップ事業」で学習した内容をもとに、北方領土の4島のうち1つの島をテーマに、島の様子や自然、産業などについて学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

「北方領土に関する体験型ワークショップ事業」において、北方領土の概要や、語り部による講話、北方領土サポーターの体験談について、情報をまとめました。

また、1人1台端末を活用し、各自の学習課題の解決に向けて、北方領土に関する情報を収集しました。



【語り部の講話の様子】

(3) 整理・分析

「北方領土に関する体験型ワークショップ事業」の際に作成したワークシートや1人1台端末を活用して集めた情報から、自分の学習課題に合ったものを選択し、整理しました。

(4) まとめ・表現

1人1台端末を活用し、学習した内容をスライドにまとめ、学んだことをグループ内で交流することにより、北方領土の歴史や文化等について理解を深めました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・児童の興味・関心に基づいた学習活動となるよう、動画の視聴や講演の内容に基づき、一人一人が課題を設定しました。
- ・児童が視点を広げ、理解を深めることができるよう、まとめの際の交流だけでなく、様々な場面において意見交流を行いました。



【メモをもとに交流する様子】

実践の振り返り

- ・動画を視聴したり、講話を聞いたりする活動を通して児童の興味・関心を高めるとともに、4島の中から1つの島について詳しく調べる学習を行ったことにより、ふるさとに関する愛着や誇りを育むことができました。
- ・北方領土に関わる方から島の自然や元島民の生活について実際の話聞き、グループでの交流を通して理解を深める活動を行うことにより、現在の自分の生活と比較して考えを深め、自分たちの住んでいる町や北海道への愛着や誇りを育むことが期待できます。